

自己評価報告書

平成23年 3月31日現在

機関番号： 24402
研究種目： 基盤研究 (C)
研究期間： 2008~2011
課題番号： 20520620
研究課題名 (和文) 近代における国境線の画定と島嶼の帰属にかんする東南アジアの事例研究
研究課題名 (英文) A Case Study of Southeast Asia on the Delimitation of Modern National Boundaries and Titles to Islands

研究代表者
早瀬 晋三 (HAYASE SHINZO)
大阪市立大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号： 20183915

研究分野： 人文学
科研費の分科・細目： 史学・東洋史
キーワード： 東南アジア史

1. 研究計画の概要

(1) 本研究目的の直接的な背景には、竹島(独島)や尖閣列島(魚釣台)の例にみられるように、近年、海底資源や漁業資源などの開発をめぐり、無人島を含む島嶼の領有権が国際的な問題になっていることがある。本研究では、19世紀から20世紀にかけての国境線画定時に、これらの島嶼の帰属がどのように扱われたのかを考察するための事例研究をおこなう。

(2) あわせて、研究分担者になっている「一九二〇世紀転換期における「戦争ロマン」の表象についての比較文化史的研究」(平成21~23年度、基盤研究(B)、研究代表者：京都大学人文科学研究所山室信一教授)で、理論的な考察をおこない、マクロな視点とミクロな視点の両方から考察を進める。

2. 研究の進捗状況

(1) これまで、イギリス議会文書やイギリス東インド会社文書を整理、考察した。ロンドンの公文書館(National Archives)には、現在Public Record Office(PRO)が含まれ、キューKewにある文書館には、

英領マラヤを管轄した植民地省(CO, 1862年~)のほか、外務省(FO, 1782年~)、商務省(BT, 1861年~)、海軍省(ADM, 1708年~)、インド・ビルマ省(1858年~ 、1937年にビルマ省独立)などの文書があり、今回のテーマに直接関係のある資料が多く所蔵されている。また、英国図書館(British Library)には、Oriental and India Office Collectionsがあり、イギリス東インド会社文書や航海記録などが保存されている。これらの文書から、イギリス人が認識した東南アジアの人の領域概念を探った。

本研究に関係する文書は、国内にも所蔵されている。たとえば、イギリス議会文書が京都大学、アメリカの公文書館文書の一部が国会図書館に所蔵されているほか、それぞれ印刷・刊行されたものが一部あるため、それらを利用して研究を進めた。

(2) また、本研究はヨーロッパ勢力が東南アジアに進出した16世紀から20世紀半ばの日本の東南アジアの占領までの長いスパンのなかで考察する必要があるため、17世紀のイギリス東インド会社「マカッサル

商館文書」や日本占領期に顕現化した国境線の問題も考察した。

(3) 近代日本の国境線の問題を理解するため、沖縄本島・先島諸島、北部九州・五島列島・隠岐諸島・壱岐で調査旅行をおこなった。また、西ヨーロッパの国境線にかんする概念を理解するために、第一次世界大戦西部戦線を調査旅行した。

(4) 基礎研究のための工具として、イギリス東インド会社「マカッサル商館文書」を翻刻し、また『フィリピン関係文献目録(戦前・戦中、「戦記もの」)』を編集・発行した。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。
(理由)

研究成果を執筆するための一次史料の整理・考察が順調に進んでいる。また、成果を相対化するための理論的考察や比較のための勉強も順調に進んでいる。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 成果を発表すべく執筆にとりかかる。ひとつは、19世紀から20世紀にかけての国境線画定の具体的事例を考察した学術論文を執筆する。

(2) もうひとつは、16世紀から20世紀までの長いスパンのなかで、19世紀から20世紀にかけての事例を考察した、概説に近いものを執筆する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計3件)

- ① 早瀬晋三「イギリス東インド会社「マカッサル商館文書」(1613-67年)の読み方」大阪市立大学都市文化研究センター編『都市の歴史的形成と文化創造力』清文堂、97-134、2011年
- ② 早瀬晋三「運輸・通信革命と東南アジアの植民化」川島真ほか編『岩波講座 東アジア近現代通史 第1巻 東アジア世界の近代 19世紀』岩波書店、238-54、2010

年、無

- ③ HAYASE Shinzo, "A Note on the Boundaries and Territories in Maritime Southeast Asia," *The Journal of History*, Vol. LIV, 345-57, 2008, 無

〔学会発表〕(計2件)

- ① HAYASE Shinzo, "Publications of War Memoirs as Paper Cenotaphs - Mass Death and the Defeat: The Meaning of Writing War Memoirs - ," Anglo-Daiwa Foundation Colloquia, London Colloquia, November 5-6, 2009, Goldsmiths College, University of London
- ② 早瀬晋三「「臨床の知」としての歴史空間」シンポジウム「世界の中の東南アジア—解体するか？東南アジア」東南アジア学会第80回研究大会、2008年11月30日、東京大学駒場キャンパス

〔図書〕(計5件)

- ① 早瀬晋三編、龍溪書舎、『フィリピン関係文献目録(戦前・戦中、「戦記もの」)』2009年、461頁。
- ② HAYASE Shinzo, *Quezon City: New Day Publishers, A Walk Through War Memories in Southeast Asia*. 2010, 200 p.
- ③ 早瀬晋三、山川出版社、『未完のフィリピン革命と植民地化』2009年、90頁
- ④ 早瀬晋三、法政大学出版局、『歴史空間としての海域を歩く』2008年、268頁
- ⑤ 早瀬晋三、法政大学出版局、『未来と対話する歴史』2008年、290頁

〔その他〕

- ① 早瀬晋三：紀伊國屋書店「書評空間」<http://booklog.kinokuniya.co.jp/hayase/>